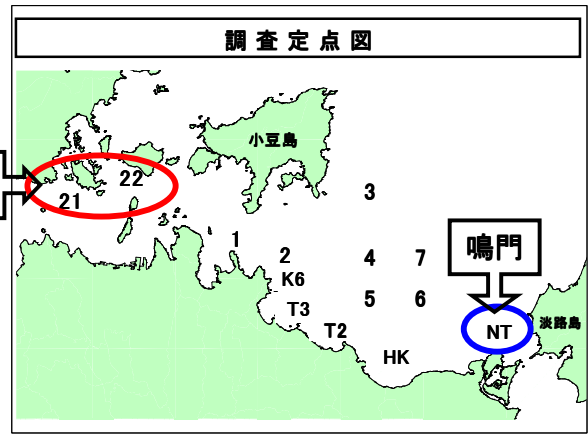


カタクチイワシ卵稚子出現状況

(2009. 9- 2)

香川県水産試験場 宮川

TEL: 087-843-6511



調査方法

調査日: 9月17日

調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳

調査定点: 播磨灘11定点+備讃瀬戸2点+鳴門1点
(調査定点図参照)

【カタクチ卵】 定点別出現数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	14点平均値
2006.9.14	0	1	8	6	0	1	3	0	0	0	0				1.7	
2007.9.20	0	3	13	0	13	3	1	2	1	0	1				3.4	3.4
2008.9.17	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3	0.2
2009.9.17	0	2	2	0	5	0	0	2	3	2	10	0	0	0	2.4	1.9

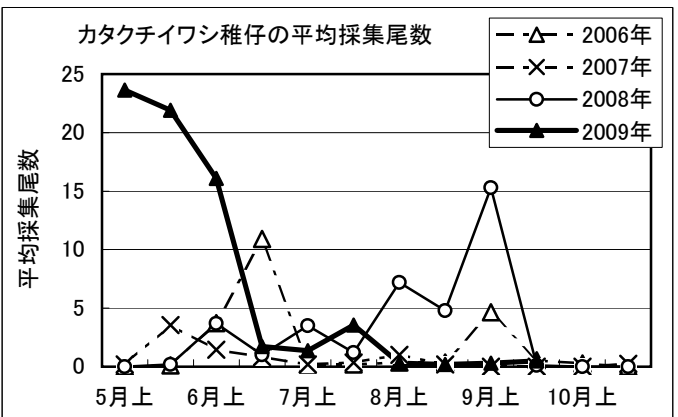
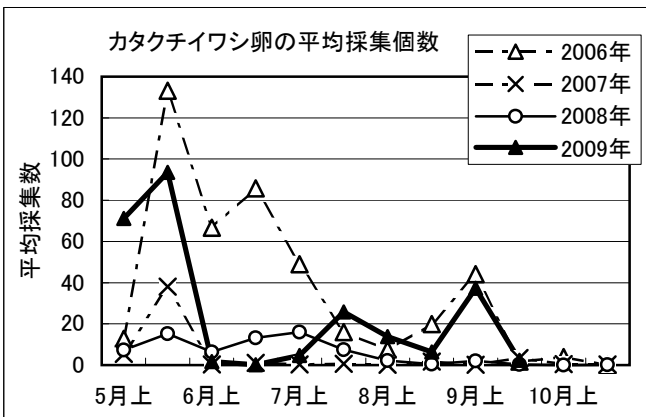
【カタクチ稚子】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	14点平均値
2006.9.14	0	1	0	0	0	2	0	1	0	0	2				0.5	
2007.9.20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0.0	0.0
2008.9.17	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1	0.1
2009.9.17	0	0	0	2	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0.5	0.4

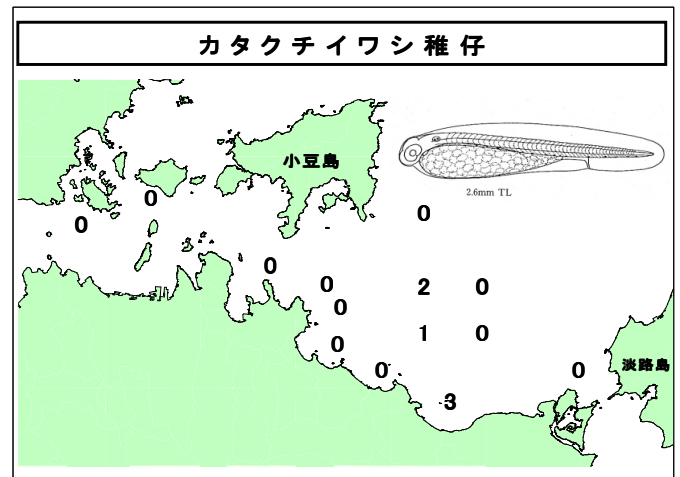
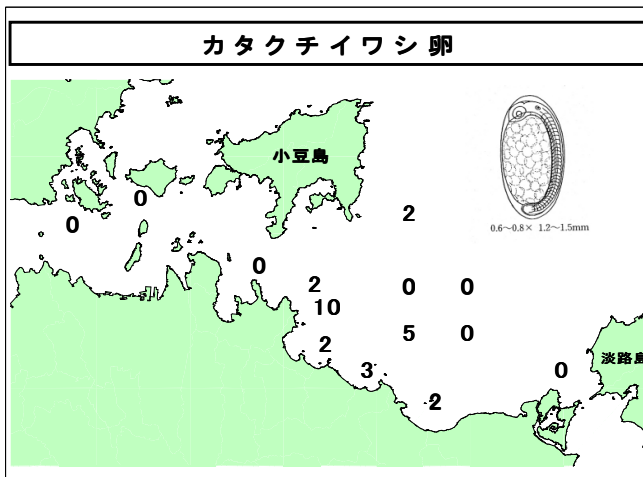
* 表中の「-」は未測定を表す。

* 11点平均値: 播磨灘11定点の平均値を表す(備讃瀬戸および鳴門を除く)。

* 14点平均値: 播磨灘11点+備讃瀬戸2点+鳴門1点の平均値を表す。



* グラフの値は播磨灘11定点における平均値を表す。



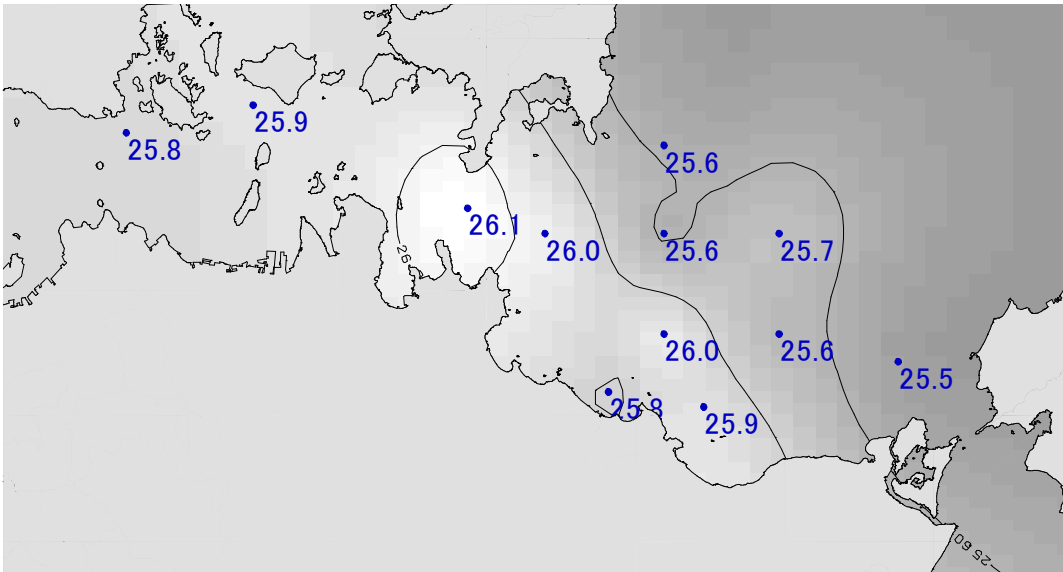
播磨灘11定点における卵の平均出現数は 2.4 個となり、昨年同時期を上回った。卵は沿岸部での出現数が沖合いより多かった。

一方、稚子の出現は平均で0.5尾となり、昨年同時期を上回った。稚子の出現は引田沿岸部と東讃沖とでわずかに認められ、播磨灘での稚子の出現が少ない傾向を示した。

引田沖に設置した水温ブイ(午前9時)によると、6月中旬以降の水温は平年並みからやや低めで推移している。

【参考】
平成21年9月17日の海況

水温（水深10m層）（℃）



塩分（水深10m層）

